

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：（大修館書店「言語文化」）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】教科書の中の主な漢字の読み書きができ、語彙をほぼ理解して使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】文章を読んで自分の考えを書くことができ、他者の話を聞いて自分の意見を伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】自ら課題を見つけ積極的に取り組むことができ、他者と協働して課題に取り組むことができる。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> 教科書の中の主な語彙がほぼ理解できる。 複数の資料を活用したり関連させたりすることができる。 言語文化の背景や現代との繋がりについて理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んだり話を聞いたりして主題を理解することができる。 根拠を示して自分の考えを書いたり話したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 規律を守って授業に取り組むことができる。 提出物の期限を守って課題に取り組むことができる。 分からないことや興味を持ったことについて自ら課題を設定し、学びを深めることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	態	配当 時数
			話・聞	書	読				
1 学 期	<p>いろは歌</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音頭に必要な文語の決まりや訓読の仕方を理解している。 <p>古文編『宇治拾遺物語』「児のそら寝」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現等について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品の内容や形式について批評・討論をしている。 異なる時代に成立した随筆や小説、物語等を読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動を実施している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。 古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。 	<p>○「いろは歌」の成立や今様形式について知り、おおよその意味内容を知ってから音読する。</p> <p>○「古典の言葉」を読み、文節や品詞の種類をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要語句を古語辞典で調べる。 文章を繰り返し読む。 登場人物の行動と心境をノートにまとめる。 僧の笑った理由を考える。 笑い話であることを理解する。 登場人物の行動や心境と重なる自分の経験をノートに書き出す。 	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いについて理解し、本文を音読している。 文節や品詞の種類を理解し、本文を文節で区切り、新出語句、重要語句を調べている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文の大意を理解し、登場人物の心境、語り手の意図を説明している。 登場人物の心境と重なる自分の経験を説明している。 僧が「そら寝」に気付いたか否かについて意見を発表している。 笑い話としての面白さを説明している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材に興味を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 古文に親しもうとしている。 登場人物や舞台について自分の言葉でまとめている。 	○	○	○	13	
	定期考査						○	○	1
	<p>古文編『宇治拾遺物語』「絵師良秀」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現等について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品の内容や形式について批評・討論をしている。 異なる時代に成立した随筆や小説、物語等を読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動を実施している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。 古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。 	<p>○「古典の言葉」を読み、文節や品詞の種類をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要語句を古語辞典で調べる。 文章を繰り返し読む。 登場人物の行動と心境をノートにまとめる。 良秀の特異な言動について考える。 内容を理解する。 	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いについて理解し、本文を音読している。 文節や品詞の種類を理解し、本文を文節で区切り、新出語句、重要語句を調べている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文の大意を理解し、登場人物の心境、語り手の意図を説明している。 登場人物の心境を説明している。 良秀の言動について意見を発表している。 話の面白さを説明している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材に興味を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 古文に親しもうとしている。 登場人物や舞台について自分の言葉でまとめている。 	○	○	○	15	
	定期考査						○	○	1
<p>古文編『伊勢物語』「茶川」「東下り」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化において、特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使用することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 作品の歴史的・文化的背景などを理解している。 古典作品を読むために必要な文語や訓読のきまり、古典特有の表現等について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて内容や構成、展開等についての確に捉えている。 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 作品の成立した背景や他作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品に興味を持ち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いを捉えようとしている。 	<p>○古典作品の中に、現代でも用いられる言葉を見出すことで、その共通点や差異について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 折句のおもしろさに気づくよう支援する。 文語のきまりや表現については暗記を優先するのではなく、その表現効果の味わいを共有することを目指す。 内容について大意が把握できるよう支援する。 本文の背景として成立した作品が、身の回りにあることに気づくよう促す。 資料を用いて具体的にイメージできるように支援する。 	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品に表れた言葉の意味や文化的背景を理解し、興味関心を持つことによって語彙を豊かにしている。 文章表現を深く味わっている。 古典を読むために必要な文語のきまりや表現について理解し、物語の世界をより深く味わっている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容を理解し、話の展開や登場人物の心情を的確に捉えている。 本文の趣旨を踏まえ、他の作品や制作物に及ぼした影響について深く理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材に興味を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 古文に親しもうとしている。 登場人物や舞台について自分の言葉でまとめている。 				11		
定期考査						○	○	1	

